



# 校長室だより

## 令和2年度 中込中学校がスタートしました！



新型コロナウイルスの騒動が続く中、本日中込中学校では男子72名・女子53名・合計125名の新入生を迎え、昨年度より6名多い全校生徒360名で1学期がスタートしました。今年は始業式(在校生)、入学式(新入生)に分けて式を行うなど特別対応をし、何とか学校を始めたいです。新入生がいなかった2～3年生のみの始業式では次のような話しをしました。

### <「ピンチをチャンス」に変えて成長していこう！>

突然始まった3学期末の一斉休業から約1ヶ月の月日が流れ、本日ようやく学校をスタートすることが出来ました。この間、皆さんはどの様な時間を過ごしたのでしょうか。私自身この期間に改めて感じたことは、「当たり前に過ごしていた日々のありがたさ」です。毎日学校に登校し、授業を受け、友達とのふれあいを楽しみ、給食を食べ、部活動をやって家に帰る。この当たり前の日々の営みがどれだけありがたいことを再認識させられました。今日から始まる1学期は、まだまだ去年の今頃と全く同じ日々にはなりません、今出来る限りの工夫をして、日常生活を取り戻していきましょう。

さて、いつも話している私のモットー2つをここで改めて話します。1つ目は「あ・た・ま」。「明るく」、「楽しく」、「前向きに」。2つ目は「ピンチはチャンス」。この2つのモットーは今年も変わりません。中込中の学校教育目標「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」の「笑顔」に重なっているこの1つ目のモットーを今年も意識しながら、全校の皆さんがもっともっと「笑顔」で過ごせる学校にしたいと願っています。楽しいから「笑顔」になるのではなく、「笑顔」でいるから楽しくなるのです。今年も毎日「笑顔」を意識して過ごしていきましょう。

2つ目のモットー「ピンチはチャンス」。今回のコロナウイルスでの一斉休業は「ピンチはチャンス」が試された時間でした。更に今日から始まる1学期の1日1日は、まさに今のピンチをどうチャンスに変えられるかが試される時です。

東京オリンピックが1年後に延期されたことが決まった時、出場内定を決めていたアスリートが「本番まで、より自分のパフォーマンスを高める時間が増えてよかった」と語っていたことが印象的でした。同じ出来事をどう捉えるかで結果は変わります。今回の出来事をプラスに変えられるよう、みんなで知恵を出し合い生活していきましょう。

これから紹介する各学年や担任の先生方と共に、今日からピンチをチャンスに変える日々を積み重ね、明るく・楽しく・前向きに少しずつ成長していきましょう。以上で話を終わります。

今年度も校長室だよりには、儀式や校長講話等で話しをさせていただいたことを随時掲載していきたいと考えています。学校へのご意見、ご要望等ありましたら、些細なことでも構いませんので右の連絡先へお問い合わせ下さい。コロナウイルスに負けないよう今年も「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために!」、「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」を目指し取り組んでまいります。ご支援・ご協力よろしくお願ひ致します。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

\*ご意見、ご要望、お問い合わせ

などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876